



アルパカの毛刈り作業 郡山三穂田町

毛刈りしてさっぱり 暑い夏を涼しく

6月17日(水)郡山市三穂田町にある「イワナの里のんびりアルパカ牧場」で、オーナーとトリニティーの毛刈りが行われました。

「いちばん星」にオーナー達が来る前に、預かっていただいたご縁から、「イワナの里さん」にいるアルパカ達とともに毛刈りをしたものです。

アルパカは、基本的に年に一度の毛刈りが必要で、毛刈りをしなければ毛は伸び続け、夏は暑さに耐えきれず、健康に支障を及ぼす恐れがあります。熱中症などになれば、命にかかる恐れもあるので毛刈りは必須となります。

毛を利用する人間だけでなく、アルパカ自身の健康を守るためにも、年に一度の毛刈りは欠かせません。

今回は、新潟県・山古志の「アルパカ村」さんのメンバーをメインに、いちばん星・郡山のスタッフとともに2頭のアルパカを1時間半程かけて行いました。また、下の歯が伸びていたので切歯を行ったり、爪の手入れや駆虫薬を飲ませたり、もさうはりした様子でした。

毛刈りした毛は今後、洗浄・加工などをを行い、商品化を目指しています。

# いちばん星



2015年 7月号

2015.7.10 発行

第17号

発行: 一般社団法人  
いちばん星南相馬プロジェクト

マリーゴールド・サルビア 植えました！  
— 金沢道路愛護会 —



6月21日(日)当プロジェクトがある「南相馬市原町区金沢地区」にて、地域の若手で組織する「金沢道路愛護会」… 理事長が事務局長 それで若手？… のメンバーが、夏苗の「マリーゴールド」「サルビア」を植えました。

管理方法としてはサルビアは花穂摘みをしっかりとおこなうと花数が増えて、ボリュームがアップします。1番最初の花穂が7~8割ほど咲き終わった時点で、花穂を摘み取ります。マリーゴールドも同様に、こまめに花がらを摘み取れば長期間花を楽しめます。来年、また綺麗な花を咲かせるために今後も、こうした管理をしっかりと行っていきます！

武蔵野会のみなさんと  
— さつまいも植え —



6月27日(土)、毎月、南相馬にボランティア活動にお越しくださっている「社会福祉法人・武蔵野会」(東京都八王子市)のみなさんが、「いちばん星農園」で、さつまいもの植付、チューリップの球根の堀上げ作業を行いました。チューリップの球根はなどは高温多湿や寒さに弱い為、植えっぱなしだと休眠期に腐ったり枯れたりする恐れがあるので、掘りあげ作業を行います。

掘り上げた後、茎や葉を束ねて直射日光の当たらない場所につるすか、新聞紙を広げて上などに重ならないように球根を並べて陰干しなどで乾燥させたのち、みかんネットなどのよく空気の通る袋に入れて、風通しのよい場所につるすか置いて貯蔵します。

また、来年も綺麗な花が咲きますようにきちんと管理行っています！

## 旬直部会だより 一 ⑤

西農園

西達也さん（鹿島区）



代々続く農家に生まれ育った西さんは、10年間、会社勤めをしながら農業を手伝っていましたが、西家の農業経営の今後を考えるよえになったそうです。

その後、奥様の後押しもあり、二人で会社を退職し、農業をスタートしました。

以前は、水稻や野菜中心の経営でしたが、達也さんの就農を機に新たに花苗や切り花、イチゴなどを積極的に作付しています。震災後、原発事故による風評被害が騒がれている中、太陽光パネルが屋根に設置されている30aの大型ハウスを導入し、イチゴ（とちおとめ）や中玉トマトの栽培に取組んでいます。

「今後は農業経営を会社化していきたい。そのためにも今が本当の基盤作り」と話し、将来を見据えた決意が伺われました。

今回は、スティックブロッコリーをみなさんにお届けしています。部会員でも、若手の会員、益々の頑張りを期待しています！

Monmo（モンモ）に掲載されました

— 福島を楽しむ大人の情報誌 —



7月10日発売のMonmo[モンモ]福島を楽しむ大人の情報誌・盛夏号の取材を受けました。「農家民宿 いちばん星」の開業の経緯や、巣の湯、お料理、牧場についてのことなどが掲載されております。

書店などで見かけた際は、お手に取ってご覧いただけたら嬉しいです！

Monmo[モンモ]福島を楽しむ大人の情報誌  
<https://www.facebook.com/Monmo.Fukushima/info>

### 今月の「旬・直・おまかせ便」

7月10日(金)発送

- 1.ズッキーニ
- 2.新たまねぎ
- 3.キャベツ
- 4.レタス
- 5.ピーマン
- 6.インゲン豆
- 7.スティックブロッコリー
- 8.きゅうり
- 9.アスパラガス
- 10.ホワイトセロリ

### 今月の花 - ハマナデシコ -

… 花言葉 「陽気な恋」「純愛」 …

## 相馬野馬追 2015

開催日時

**7月25日(土)26日(日)27日(月)**

**宇多郷(相馬市)…56騎**  
**北郷(南相馬市鹿島区)…77騎**  
**中ノ郷(同市原町区)…201騎**  
**小高郷(同市小高区)…71騎**  
**標葉郷(浪江／大熊／双葉町)…45騎**

一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国(千葉県北西部)に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月末の土曜日・日曜日・月曜日、甲冑に身を固めた450騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華な戯劇で勇壮な戦国絵巻を繰り広げられます。



梅雨に入り、じめじめした暑い日が続いております。これから暑い日が続いているので、皆様も熱中症には十分にご注意ください。

今年は、南相馬の夏の風物詩「相馬野馬追」です。

本年は、4000騎の出陣が見込まれてあります。震災前の割合近くの500余騎の状況に戻りました。

皆様も、是非一度は、馬追祭野馬追鑑賞をお越しください。

スタッフ 高田女佑貴